

水質改善
(代表事業者：株式会社イノカ)

1 実施内容

東京都が実施する「東京ベイ eSG プロジェクト」の令和4年度先行プロジェクトで事業採択された「水質改善」のプロジェクトでは、中央防波堤エリア（海の森水上競技場（指定水面））にて技術実証を行っています。

イノカ独自の「環境移送技術®」を活用して、東京湾の底質環境を屋内研究室内の実験水槽に再現し、本水槽内でヘドロや青潮に起因する悪臭の軽減や水質の改善に資する技術を確立します。

風などの影響で海底のヘドロが巻き上がると、毒性の高い化学物質（硫化水素等）がヘドロから湧昇して、悪臭や魚の大量死につながります。水質改善には、硫化水素と反応性がある鉄鋼スラグ*を使用します。

※鉄鋼スラグ：製鉄工程で発生する副産物で、優れた土木材料特性を有する

海の森水上競技場での実証の様子



図1：海水サンプルの収集。
含有物、PH、透明度を調査



図2：鉄鋼スラグをケージに入れ、
海中に沈めた

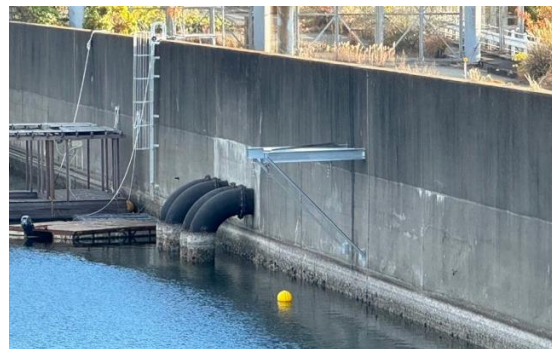


図3：海中に3ヶ月沈め、スラグに付着
する不純物などを測定する

2 実施期間

令和4年4月から令和6年3月末まで

3 実施場所

鉄鋼スラグを含むケージを設置：海の森水上競技場（指定水面）



4 事業実施者

株式会社イノカ、JFEスチール株式会社、関西大学

https://www.kansai-u.ac.jp/ja/assets/pdf/about/pr/press_release/2023/Nojr4.pdf

(関西大学)